

編集後記

ここに『言語と文化論集』第12号が上梓されました。喜ばしいことに、英語英文学専攻課程から課程博士の第一号が誕生しました。これまでに中国言語文化専攻課程からは文学系が1名、言語系が4名の課程博士が誕生していますので、神奈川大学大学院外国語学専攻の若い学究の将来の活躍のためにも、さらに英語英文学専攻課程からもどしどし博士号が公表されるように願います。公表といえば、今回も、諸般の事情により、学位論文の全頁は残念なことに掲載することができませんでした。博士号論文は規約に「公表すべし」とあるので、当局の理解により、単独で発刊されることが慣例となるようにと願っております。

編集委員としては、将来性の豊かに恵まれている大学院生のお手伝いをすることは大きな喜びです。学究として本格的に書き出した最初の論文を世に出すお手伝いをするのは嬉しい役割です——それぞれの投稿者はそれぞれの指導教授からの厚き薫陶を十分に受けて完成作品を提出してくれるはずですから。これからも、年一回発行されるこの専門誌への投稿を目標に、じっくりと腰を据え、より本格的なものを目指して、これが真摯な学究としての第一歩のきっかけになってほしいと思います。

編集委員 橋本 侃 (外国語学部教授)

投稿要領

記

締切：10月末日

分量：(論文) 400字詰め原稿用紙 50枚前後相等分

(研究ノート) 同 30枚前後

提出要領：(1)「完全原稿」を提出のこと。和文原稿には英文のタイトルを
付け、ローマ字表記の名前を明示のこと

(2)提出原稿には下記の事項を明記すること

(a)連絡先：現住所、電話（ファックス/Eメール）番号

(b)身分：専攻、課程、修了年次、在学年次

提出先：編集委員に直接手渡しのこと

◎なお、印刷工程の効率化のために、ハードコピーと共にフロッピーを提出のこと（使用パソコン・ワープロ機種名と、ソフト名・版数などを必ず明記のこと）

**神奈川大学大学院
言語と文化論集 第12号**

2005年12月 印刷

2005年12月 発行

編集発行 神奈川大学大学院
外国語学研究所
(横浜市神奈川区六角橋 3-27-1)

製 作 昭和情報プロセス株式会社